



学校だより

風薫る

令和8年(2026年)10月26日発行

臨時号

札幌市立北野中学校
(011)882-0754

<https://www.kitano-j.sapporo-c.ed.jp>



◆令和8年度全国学力・学習状況調査の結果について

4月20、23日、5月1日に3年生対象に実施された「令和8年度全国学力・学習状況調査」の本校の結果をまとめましたのでお知らせいたします。

なお、報告様式については札幌市教育委員会の指導の下、次のような表現で表しています。

記号の意味：全国平均と比較して

△：+3.1ポイント以上→「上回っている」

◇：+3.0ポイント以内→「ほぼ同程度であるが、やや上回っている」

○：全国平均と同じ→「ほぼ同程度」

◆：-3.0ポイント以内→「ほぼ同程度であるが、やや下回っている」

▼：-3.1ポイント以上→「下回っている」

【中学国語】教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要（平均正答率）

【領域】

□「話すこと・聞くこと」

▼全国平均を下回っている。

□「書くこと」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

□「読むこと」

◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

□「言葉の特徴や使い方に関する事項」

◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

今回の調査における課題

●必要に応じて質問しながら話の内容を捉えることができる。

●段落相互の関係を明確にし、文章の展開を工夫することができる。

●文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。

●文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことができる。

改善の方向

○話し手、聞き手が話題や質問の意図を意識しながらその経過を捉え、話したり聞いたりする学習活動を充実させる。

○文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫する学習活動を充実させる。

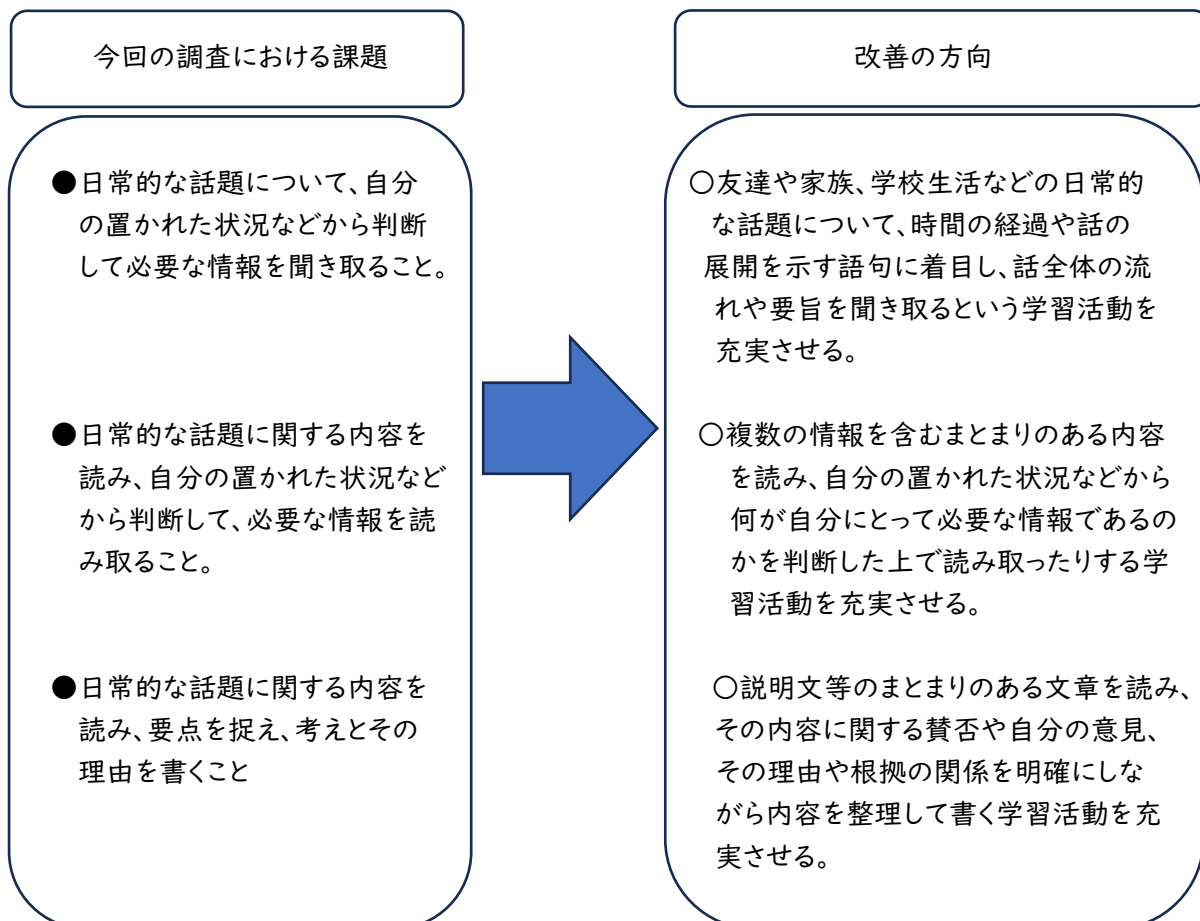
○文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ学習活動を充実させる。

○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、使い分けられるようにする学習活動を充実させる。

【中学数学】教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

本校の概要（平均正答率）	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 □「数と式」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 □「図形」 △上回っている。 □「関数」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 □「データの活用」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	●四則計算の結果がどんな数になるかを予想すること。 ●図形の定義、定理をしっかりと理解した上で問題に取り組むこと。 ●様々な関数において、xに対応するyの値を正確に求めること ●累積度数の意味を理解して度数分布表を読み解くこと。	○多くの計算問題を解き、結果だけでなく、過程を振り返ることで、途中計算の意味を理解する。 ○図形の定義、定理についてもう一度しっかりと復習する。 ○比例、反比例、1次関数、xの2乗に比例する関数など様々な関数の問題に繰り返し取り組む。 ○度数と累積度数の意味の違いをしっかりと考えて、問題に取り組む。

【中学英語】教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について



【質問紙調査の分析】

調査の内容は、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する 80 の質問項目に答えるというものでした。本校の各質問の結果を全国平均と比較して、違いが顕著に見られる内容をまとめてみました。

〔全国平均に比べて、肯定的な回答の割合が高いもの〕（全国との差）

- ・毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
（+5.9ポイント）
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
（+5.5ポイント）
- ・あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
（+5.3ポイント）
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか
（+6ポイント）

〔全国平均に比べて、肯定的な回答の割合が高いもの〕（全国との差）

- ・1、2年生のときに受けた授業では、国語の授業で、互いの立場を考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめていましたか
（-13.3ポイント）
- ・1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか
（-24.5ポイント）
- ・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
（-17.1ポイント）
- ・1、2年生のときに受けた授業では、数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか
（-12.7ポイント）
- ・1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり、自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていましたか
（-8.6ポイント）

【総括…今後の課題として取り組むこと】

- ・学習面 小学校と中学校では ICT 活用状況に大きな開きが見られる。教科の特性や内容の面からすべての授業での活用は難しいが、可能な限り1人1台端末を活用した授業づくりを推進していく。
国語、英語では言語活動の強化を図り、英語では ALT との連携もさらに進めていく。
教科と日常生活とのつながりを意識できるような授業展開を行い、将来の夢や希望が持てるよう指導していく。
- ・生活面 身につけた体力や知識をもとに、日常生活の中で身近な人への配慮や地域、社会でのボランティア活動など、具体的に行動し継続できるように進めていく。